



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ロココ 上場取引所 東
コード番号 5868 URL <https://www.rococo.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 一彦
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 水野 賢仁 (TEL) 03(6851)0655
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	6,553	14.8	406	72.4	423	68.7	287	83.9
2024年12月期第3四半期	5,710	7.2	235	△40.2	251	△33.2	156	△37.5

(注) 包括利益 2025年12月期 第3四半期 280百万円(75.5%) 2024年12月期 第3四半期 159百万円(△39.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	77.30	76.13
2024年12月期第3四半期	42.34	41.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,813	2,919	60.6
2024年12月期	4,341	2,750	63.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 2,919百万円 2024年12月期 2,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,610	10.4	496	16.3	492	11.5	331	19.1	86.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	3,726,300株	2024年12月期	3,723,300株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	3,724,927株	2024年12月期3Q	3,698,300株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、本決算短信とあわせて、決算補足説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善、堅調な企業業績、インバウンド需要の継続を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の政策動向や国際情勢を受けた資源価格の高騰等、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

情報サービス業界においては、労働人口の減少や業務効率化のニーズを背景に、デジタル技術を活用したDX推進に関する投資が引き続き高水準で推移しており、その傾向は今後も続くものと見込まれます。

このような市場環境の中、新規顧客・案件の獲得、既存取引先の増員・単価アップ、スポット案件の機器販売受注等により、各事業の売上は好調に推移しました。利益面においては、売上増加に伴って売上総利益が増加し、販売費及び一般管理費は大きく増加せず抑制できた結果、前年同期比で利益が大きく増加しました。

以上の結果、売上高は、6,553,423千円（前年同期比14.8%増）、営業利益は、406,242千円（前年同期比72.4%増）、経常利益は、423,628千円（前年同期比68.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、287,946千円（前年同期比83.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ITO&BPO事業

当セグメントにおきましては、新規顧客・案件の獲得、既存取引先の増員・単価アップ、Windows11移行を背景とした機器販売の増加により、ITサービスマネジメント事業、カスタマーコミュニケーション事業、イベントサービス事業の売上及び利益が好調に推移しました。ソリューション事業においては、前期に大型の施設向けソリューション導入案件があった影響で、前年同期比で売上及び利益が減少しました。

以上の結果、売上高は、4,303,130千円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、248,394千円（前年同期比72.1%増）となりました。

② クラウドソリューション事業

当セグメントにおきましては、企業におけるDX推進の流れにより、ServiceNow事業において新規契約を獲得し、売上及び利益ともに好調に推移しました。システムソリューション事業では、2024年12月にファンクラブプラットフォーム運営事業を譲り受けた影響で売上が増加した他、既存顧客においても案件拡大があり、売上が増加しました。一方、一部の案件で業務委託費等の原価が多くなり、システムソリューション事業の利益は微減となりました。HRソリューション事業では、前期に既存顧客に対する大型改修案件があった影響で、前年同期比で売上及び利益が減少しました。

以上の結果、売上高は、2,152,139千円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益（営業利益）は、155,578千円（前年同期比91.9%増）となりました。

③ その他

海外事業におきましては、外部顧客への売上高は減少したものの、グループ向けの開発保守案件や研究開発受託の売上高が増加しました。費用面では、ポーランド子会社の新規設立や一部の子会社で人員数増加・賃率上昇を背景とした人件費増加があり、売上の増加以上に費用が増加しました。

以上の結果、売上高は、333,464千円（前年同期比4.1%増）セグメント利益（営業利益）は、2,270千円（前年同期比78.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ192,252千円増加し、3,634,845千円となりました。主な要因は、現金及び預金が103,862千円、売掛金及び契約資産が141,206千円、それぞれ減少し、仕掛品が345,096千円、前払費用が88,447千円、それぞれ増加したことによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ280,018千円増加し、1,178,519千円となりました。主な要因は、取得により有形リース資産が35,249千円増加し、取得により投資有価証券が213,000千円増加したことによります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ406,048千円増加し、1,541,817千円となりました。主な要因は、機器販売の大型案件の仕入れのために買掛金が420,918千円増加し、冬期賞与のため賞与引当金が188,619千円増加した一方、消費税等の計上及び納付により未払消費税等が87,504千円減少し、未払社会保険料の減少等により未払費用が101,885千円減少したことによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ102,848千円減少し、352,659千円となりました。主な要因は、返済により長期借入金が131,750千円減少し、役員退職慰労引当金が23,960千円増加したことによります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ168,848千円増加し、2,919,161千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益287,946千円の計上により利益剰余金が増加し、配当111,699千円により利益剰余金が減少したためとなります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年2月14日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予測数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,927,316	1,823,454
売掛金及び契約資産	1,392,532	1,251,325
仕掛品	9,982	355,079
貯蔵品	2,214	1,155
その他	110,952	203,830
貸倒引当金	△406	-
流動資産合計	3,442,592	3,634,845
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	125,752	121,493
工具、器具及び備品（純額）	17,094	21,693
土地	9,506	9,506
有形リース資産（純額）	42,271	77,521
有形固定資産合計	194,625	230,215
無形固定資産		
ソフトウェア	28,778	34,400
無形リース資産	485	-
のれん	44,532	35,985
ソフトウェア仮勘定	-	12,778
無形固定資産合計	73,796	83,165
投資その他の資産		
投資有価証券	48,379	261,379
繰延税金資産	75,916	75,442
保険積立金	244,172	254,896
その他	264,861	276,670
貸倒引当金	△3,250	△3,250
投資その他の資産合計	630,079	865,138
固定資産合計	898,501	1,178,519
繰延資産		
社債発行費	496	273
繰延資産合計	496	273
資産合計	4,341,590	4,813,637

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,223	553,142
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	206,712	170,080
リース債務	13,597	19,662
未払法人税等	117,747	67,247
未払消費税等	166,731	79,226
未払金	67,887	69,238
未払費用	300,862	198,977
賞与引当金	12,188	200,808
役員賞与引当金	-	29,249
移転損失引当金	5,305	-
受注損失引当金	221	400
その他	92,290	133,784
流動負債合計	1,135,769	1,541,817
固定負債		
社債	15,000	-
長期借入金	285,098	153,348
リース債務	34,389	67,623
資産除去債務	39,701	40,084
退職給付に係る負債	23,272	14,218
役員退職慰労引当金	50,850	74,810
その他	7,196	2,575
固定負債合計	455,508	352,659
負債合計	1,591,277	1,894,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,454	642,566
資本剰余金	575,957	576,069
利益剰余金	1,476,464	1,652,712
株主資本合計	2,694,876	2,871,348
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	55,432	47,807
その他の包括利益累計額合計	55,432	47,807
非支配株主持分	4	4
純資産合計	2,750,313	2,919,161
負債純資産合計	4,341,590	4,813,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,710,767	6,553,423
売上原価	3,669,841	4,223,951
売上総利益	2,040,926	2,329,471
販売費及び一般管理費	1,805,225	1,923,228
営業利益	235,700	406,242
営業外収益		
受取利息及び配当金	425	1,948
助成金収入	15,767	7,194
保険配当金	2,807	4,111
保険解約返戻金	9,638	-
退職給付に係る負債戻入額	-	7,708
為替差益	-	1,612
その他	2,840	3,143
営業外収益合計	31,479	25,719
営業外費用		
支払利息及び社債利息	6,947	5,563
社債発行費償却	423	223
営業外手数料	3,055	2,154
為替差損	5,240	-
その他	353	391
営業外費用合計	16,020	8,333
経常利益	251,159	423,628
特別損失		
固定資産除却損	2,671	704
特別損失合計	2,671	704
税金等調整前四半期純利益	248,488	422,924
法人税等	91,901	134,977
四半期純利益	156,586	287,946
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,586	287,946

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	156,586	287,946
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,185	△7,624
その他の包括利益合計	3,185	△7,624
四半期包括利益	159,772	280,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,771	280,321
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社は、2023年12月20日に東京証券取引所スタンダード市場に株式を上場しました。この上場にあたり、2024年1月16日に野村證券株式会社からオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の払込を受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ105,644千円増加しております。その他、新株予約権(ストックオプション)の権利行使による資本金及び資本準備金がそれぞれ615千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資本金は642,289千円、資本剰余金は575,792千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITO&BPO 事業	クラウドソ リューショ ン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,762,374	1,838,553	5,600,927	109,840	5,710,767	—	5,710,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	210,469	210,469	△210,469	—
計	3,762,374	1,838,553	5,600,927	320,309	5,921,236	△210,469	5,710,767
セグメント利益 (注) 1	144,311	81,054	225,366	10,334	235,700	—	235,700

(注) 1. 全社共通の費用は一定の比率で各セグメントに配賦しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業（海外子会社で展開するソフトウェア開発、システム運用・保守業務）であります。

3. セグメント利益は営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITO&BPO 事業	クラウドソ リューショ ン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,303,130	2,152,139	6,455,270	98,152	6,553,423	—	6,553,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	235,311	235,311	△235,311	—
計	4,303,130	2,152,139	6,455,270	333,464	6,788,734	△235,311	6,553,423
セグメント利益 (注) 1	248,394	155,578	403,972	2,270	406,242	—	406,242

(注) 1. 全社共通の費用は一定の比率で各セグメントに配賦しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業（海外子会社で展開するソフトウェア開発、システム運用・保守業務）であります。

3. セグメント利益は営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
減価償却費	42,788千円	36,496千円
のれんの償却額	6,464千円	8,546千円